※令和４年度以降入学生用

学校番号	3022

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	教養数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学の学習を通して教養を深めることを目的に講義する。1学期は、試験対策（ＳＰＩを含む）のために、これまでに学習した基本計算や文章題について講義する。2学期以降は、総合的な試験対策と思考力を伸ばす学習を行う。ぜひ、この講義の受講を通して数学的な思考や問題解決力をつけよう。

2　学習の到達目標

a:知識及び技能
　実社会に必要な数学の知識や技能を身に付ける。
b:思考力、判断力、表現力等
　数学を活用して各問を論理的に考察する力、数学的表現を用いて解答を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
c:学びに向かう力、人間性等
　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	一般教養として取り扱う基本的な計算問題を解けるようになる。 数的処理ができるようになるために、規則性や数理パズルの問題、SPI の問題の解法を身に付けている。 図形の面積、展開図を取り扱い基本的な性質や構造を理解している。 社会保障や人口問題などの身近な問題について知り、統計資料を読むことができている。	習得した基本的な計算力や知識を自分の進路に活かす。 図形の性質の理解を応用させて、問題を多面的に解いていく手法を習得し問題解決することができている。 社会保険料や税金についての知識を理解し、その実務的な計算ができている。 統計資料や意見を見聞きし、今後の日本の人口問題に対して、自分の考えをまとめ発表するなどの表現力をつけている。	各テーマのキーワードや知らない用語について、自主的に情報を収集して理解を深める意識を持っている。 学んだ内容を通して、自分が社会とどのように結びついているか考察し、これからどのように行動していくべきかという考えや態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	計算問題の復習	・四則計算 （整数・小数・分数） ・概数の計算 ・一次方程式と二次方程式の計算	a:問題ごとに正確で早く解くための方法を理解している。 b:応用問題を、最適な方法で解くことができている。 c:難解な問題でもあきらめずに解くために行動できている。	定期考査 小テスト 課題プリント等	定期考査 小テスト 課題プリント等	振り返りシート 提出物 授業態度
	文章題の復習	・比とその活用 ・割合の文章題 ・時間と速さの文章題 ・SPI対策演習	a: 比、割合について知識の理解をする。時間と速さの関係について理解を深め、計算ができている。 b: 文章題を解く際、最適な方法で解くことができている。 c: ＳＰＩの問題や実践問題の演習を通してよい結果を出すための努力をしている。	定期考査 小テスト 課題プリント等	定期考査 小テスト 課題プリント等	振り返りシート 提出物 授業態度
二学期	図形の探究	・計算問題の総合演習 ・平面図形の考察 （面積、図形の移動） ・立体図形の考察 （体積、展開図）	a:計算問題を習得している。 簡単な平面図形の面積や移動距離について理解している。 b: 平面図形の面積や移動距離、展開図を使って、図形問題に取り組み解くことができている。 c:多面体の展開図を使って、性質を考察し理解を深めている。	定期考査 小テスト 課題プリント等	定期考査 小テスト 課題プリント等	振り返りシート 提出物 授業態度
	数的処理・教養を深める	・数理パズルを解いてみよう ・仕事の効率化 ・手順や情報の見える化 ・税金と社会保険料の計算 ・資産運用の手法と計算	a: 数的処理に必要な基本知識について理解している。 アローダイヤグラムや流れ図を理解している。この技術を使い問題の全体像を把握している。 b:問題に応じて適切に解法を選択し問題を解くことができている。 アローダイヤグラムや流れ図を使って、効率よく問題を解くことができている。 実務的な金額計算ができている。 c:取り扱ったテーマがどのように、身近な生活に活かされているか率先して情報を収集しようとしている。	定期考査 小テスト 課題プリント等	定期考査 小テスト 課題プリント等	振り返りシート 提出物 授業態度

※令和４年度以降入学生用

三学期	未来を予測する	・統計資料の収集 ・統計資料の読み方と活用	a:人口統計の資料の収集ができている。 b:人口統計の資料からわかることや変化の理由について考えることができている。 c:人口統計の資料を参考に、人口減少社会にどう対処していくか考察しまとめることができている。	定期考査 小テスト 課題プリント等	定期考査 小テスト 課題プリント等	振り返りシート 提出物 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度